

meguマカ

2019.2月号... vol.129

ワンちゃんにやさしい
人と動物の幸せを繋ぐ！
東京都動物愛護推進員の
茅原真弓 皆様へ



人に良薬、犬に猛毒「チョコレート」

バレンタインデーもあり、いつもは置いてないけれど、家中にチョコレートがある... そんな昨今、今一度、ワンちゃんにはチョコレートがとて危険な食べ物であることをバシバシとごぞ。下記の記事で、人にとってはビター系チョコレートが良薬とも言えることを書いていますが、ワンちゃんとしては、カカオ含有量が多いビターチョコレートは、とて少量だとしても、摂取後、死に至ることもあるのだよ。ビターチョコレートではなくても、量にかかわらず、ワンちゃんや犬の体質によっては、大変なことになると思います。小さなお子さんが食べているチョコレートアイスや、チョコチップパン、チョコクッキーなど、ついワンちゃんに「あげる〜」なんていうことになりがち。また留守中に、テーブル上のチョコを食べられてしまったなんてない？、要注意だ！

良薬口に苦し! 甘くないチョコレートのススメ

チョコレートは甘いもの... 太るし... 糖尿病も心配...
チョコレートが、ちよび悪役だ。下時代は過去のこと。
昨今は、甘くないチョコレートの効果が話題で大人気。
皆さんはもう召し上がることあるでしょうか?! 今回、バレンタインデーおまけとしてお付けにありますが、ぜひお召し上がり下さい♡
さて、その甘くないチョコレートというのは、原材料のカカオ含有量が70%以上のものを高カカオチョコレートと云い、近年、多くの研究で「健康のためは1日25g食べましょう」とススメられているものです。カカオの注目成分は「ポリフェノール」。カカオのポリフェノールは赤ワインの15倍!! このポリフェノールは、体内の酸化(老化、さび)を防ぎ、何となくも肝臓を守ってくれる最強(肝)ポリフェノールです。肝臓は血液の蔵で、肝臓の働きが正常にあるとは、血



めぐりを正しく機能させることになり、血圧の安定、動脈硬化予防、血糖値の安定、ダイエット、脳の活性... と、数えきれない効果が期待できます。肝臓とは「アルコール分解も... お酒を飲む前に高カカオチョコレートを一口召し上がるのもオススメです。また、肝臓がダメージを受けやすい季節というのがあり、それは「春」。まさに立春過ぎ、これから5月頃までがその季節の意味、バレンタインデーで高カカオチョコレートをプレゼントするのは「絶妙なタイミング」と言えますね♡
「すい効果はわかるけれど、やっぱり甘くないチョコレートはおいしくない...」と思われれば、ホットミルクにとかいてココア風にしても、ゼリーやカレーの隠し味として入れたり、美味しくカカオの効果を摂取できます。店頭でも70%以上の高カカオチョコレートが人気のようです! ぜひお試しください。



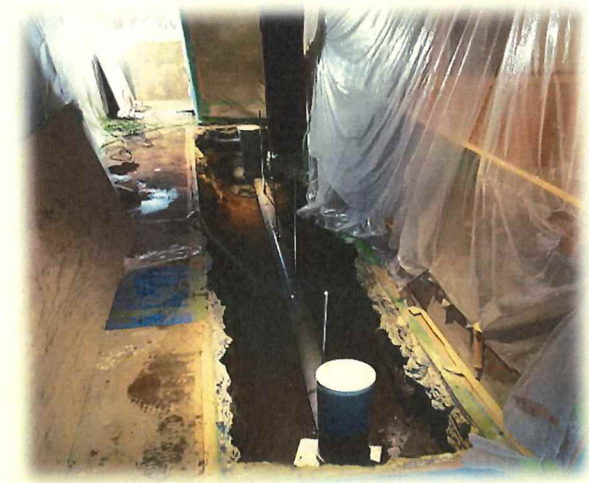
今月の事
恵 社長のアドバイス

『水は上から下に流れる』

とてもあたりまえのことですが、設備の排水管においては、最大のポイント。



ところが、施工の不備や経年によって、時に漏水や勾配不良が生じ、適正な排水ができなくなってしまうことも。また排水管が1階の床下に埋設されていると、修理もとても困難です。



毎日の暮らしで水や電気が使えないと大変。あまり気に留めてないかもしれませんが、排水が流れることも、同じくらい大切なのです。

今回はお客様が日々点検をされていることで、早々に異変を察知されました。「なんだか流れが悪い」「なんだか臭う」大切な建物からの危険信号かもしれません。

発行元 株式会社 新建築
〒110-0001 東京都港区新橋1-10-4
Tel. 03-3350-6689
Fax. 03-3350-8186